

# 付属資料4 調達費算出シート

## 入力方法

# 手順

- 0 調達先ごとに行を足す
- 1 表1の番号を記入  
助成の区分、単価区分を記入  
JAS品目区分を記入  
調達先を記入する
- 2 表1の材積を記入する
- 3 表1に材料費を記入
- 4 加工費を計算する
- 5 運搬費を計算する
- 6 表1の④調達費値引き前を確認する
- 7 その他費用を記入
- 8 見積書ごとの総額を記入
- 9 表1の⑤1一値引率を記入  
⑥調達費 値引き後を確認
- 10 助成予定金額の算出を記入
- 11 印刷(A3縦)

# 手順0 調達先ごとに行を足す-1

JAS品目区分が同じで調達先が2つ以上ある場合、調達先ごとに行を増やす

方法（例：助成対象となる機械等級区分構造用製材の調達先が2つある）

- ① 調達先が2つ以上あるJAS品目区分の行(左の行数字)をクリック
- ② 右クリック→コピー
- ③ 挿入したいところの一つ下の行を選択
- ④ ホーム→セル→挿入 をクリック

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following table structure:

番号	助成の区分 ※1	単価区分 ※1	JAS品目区分	加工費	運搬費	値引き前 (②+③)
6	JAS構造材	50,000円/m 3	機械等級区分構造用製材			
7	JAS構造材	50,000円/m 3	目視等級区分構造用製材 (乾			
8	JAS構造材	50,000円/m 3	枠組壁工法構造用製材(たて継ぎ材を			
9	JAS構造材	50,000円/m 3	構造用集成材 (中断面以上)			
10	上記 (単価区分5万円の木			0	0	0
11	JAS構造材	140,000円/m 3	直交集成板 (CLT)			
12	JAS構造材小計 (単価区分5万円の木材+			0	0	0
13	その他林産物JASの上限材種(自動計					
14	その他林産物JAS		プルダウンで選択			
15	その他林産物JAS		プルダウンで選択			

The context menu is open over row 6, with 'コピー(C)' highlighted. A red circle is drawn around the 'コピー(C)' option. A red arrow points to the row number '6' in the left margin.

# 手順0 調達先ごとに行を足す-2

JAS品目区分が同じで調達先が2つ以上ある場合、調達先ごとに行を増やす

方法 (例:助成対象となる機械等級区分構造用製材の調達先が2つある)

- ① 調達先が2つ以上あるJAS品目区分の行(左の行数字)をクリック
- ② 右クリック→コピー
- ③ 挿入したいところの一つ下の行を選択
- ④ ホーム→セル→挿入 をクリック

The screenshot shows the Excel interface with the 'Insert' button in the 'Cells' group of the 'Home' tab highlighted with a red circle and the number 4. A red arrow points to row 7 in the table, which is highlighted with a yellow box and the number 3.

番号	助成の区分 ※1	単価区分 ※1	JAS品目区分	(小数点第5位 切り捨て)	材料費	加工費	運搬費	値引き前 (②+③)
4								
5	1	JAS構造材	50,000円/m 3	機械等級区分構造用製材	0.0000			
6		JAS構造材	50,000円/m 3	目視等級区分構造用製材 (乾燥処理材)	0.0000			
7		JAS構造材	50,000円/m 3	枠組壁工法構造用製材(たて継ぎ材を含む)	0.0000			
8		JAS構造材	50,000円/m 3	構造用集成材 (中断面以上)	0.0000			
9		JAS構造材	50,000円/m 3	構造用単板積層材 (LVL)	0.0000			
10	上記 (単価区分5万円の木材) 計			0.0000	0	0	0	0
11		JAS構造材	140,000円/m 3	直交集成板 (CLT)	0.0000			
12	JAS構造材小計 (単価区分5万円の木材+CLT)			0.0000	0	0	0	0
13	その他林産物JASの上限界材積(自動計算)			0.0000				
14		その他林産物JAS		ブルダウンで選択	0.0000			
15		その他林産物JAS		ブルダウンで選択	0.0000			

# 手順1 表1の番号を記入

- 番号を上から順に記入する
- 行を挿入したとき、その行の番号も忘れずに記入する

表1. 木材の調達費（JAS品目毎、調達先毎）

番号	助成の区分 ※1	単価区分 ※1	JAS品目区分
1	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	機械等級区分構造用製材
2	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	目視等級区分構造用製材（乾燥処理材）
3	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	枠組壁工法構造用製材(たて継ぎ材を含む)
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	構造用集成材（中断面以上）
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	構造用単板積層材（LVL）
上記（単価区分5万円の木材）計			
	JAS構造材	140,000円/m <sup>3</sup>	直交集成板（CLT）

# 手順1 助成の区分、単価区分を記入

行を足して、空欄のとき(P2, 3の行の足し方でないとき)

- 空欄にならないよう、記入する
- 小計の算出計算の範囲にすべてのセルが入っているか確認する
- 半角全角を間違えると、小計セル(青いセル)の数値がずれるため、既に記入されているセルからのコピー&ペースト推奨

表1. 木材の調達費 (JAS品目毎、調達先毎)

番号	助成の区分 ※1	単価区分 ※1	JAS品目区分
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	機械等級区分構造用製材
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	目視等級区分構造用製材 (乾燥処理材)
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	枠組壁工法構造用製材(たて継ぎ材を含む)
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	構造用集成材 (中断面以上)
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	構造用単板積層材 (LVL)
			上記 (単価区分5万円の木材) 計
	JAS構造材	140,000円/m <sup>3</sup>	直交集成板 (CLT)

# 手順1 JAS品目区分を記入

リスト

## JAS構造材の場合

- ① P2, 3以外の方法で行を足した場合、空欄のセルをクリック
- ② 右側に出るマーク▼を押すとプルダウンリストが出てくる
- ③ リストの中から選択

## その他林産物JASの場合

- ① 「プルダウンで選択」のセルをクリックして選択
- ② 右側に出るマーク▼を押すとプルダウンリストが出てくる
- ③ スクロールし、リストの中から選択

### その他林産物JASリスト

- 目視等級区分構造用製材(グリーン材)
- 造作用製材
- 下地用製材
- ※機械等級区分構造用製材
- ※目視等級区分構造用製材(乾燥処理材)
- 製材:その他
- 造作用集成材
- 構造用集成材(小断面)
- ※構造用集成材(中断面以上)
- ※2×4工法構造用製材
- ※直交集成板(CLT)
- ※構造用LVL
- 造作用LVL
- 構造用パネル(OSB)
- 構造用合板
- 普通合板
- 合板:その他
- フローリング
- その他

## JAS構造材の場合

JAS品目区分
機械等級区分構造用製材
目視等級区分構造用製材(乾燥処理材)
<ul style="list-style-type: none"> <li>機械等級区分構造用製材</li> <li>目視等級区分構造用製材(乾燥処理材)</li> <li>枠組壁工法構造用製材(たて継ぎ材を含む)</li> <li>直交集成板(CLT)</li> <li>構造用集成材(中断面以上)</li> <li>構造用単板積層材(LVL)</li> <li>構造用単板積層材(LVL)</li> </ul>
上記(単価区分5万円の木材)計

## その他林産物JASの場合

その他林産物JAS	プルダウンで選択	0.0000
その他林産物JAS	プルダウンで選択	0.0000
その他林産物JAS	<ul style="list-style-type: none"> <li>目視等級区分構造用製材(グリーン材)</li> <li>造作用製材</li> <li>下地用製材</li> <li>※機械等級区分構造用製材</li> <li>※目視等級区分構造用製材(乾燥処理材)</li> <li>製材:その他</li> <li>造作用集成材</li> </ul>	
その他林産物JAS	その他林産物JAS小計	
助成対象外の木材	助成対象外の林産物JAS	
助成対象外の木材	林産物JAS以外の木材	0.0000
	助成対象外の木材小計	0.0000

スクロールしてリストから選択

# 手順1 調達先を記入する

- 調達先を記入する
- 調達先が2つ以上ある場合は、P2, 3を参考に行を増やす

A3で印刷		申請番号：J90〇〇-00〇		物件名：			
※足りない行は増やす							
①材積 (小数点第5位 切り捨て)	②見積もり額	③材積按分額		④調達費 値引き前 (②+③)	⑤ 1-値引率	⑥調達費 値引き後 (④×⑤)	調達先 (調達先別に行を分ける)
	材料費	加工費	運搬費				
0.0000					0.0000		
0.0000							
0.0000							
0.0000							
0.0000							
0.0000	0	0	0	0		0	
0.0000							

# 手順2 表1の材積を記入する

- 小数点第5位を切り捨て、小数点第4位までを記入
- オレンジ色の上限材積は自動計算なので、入力しない
- 「その他林産物JAS」で上限の材積を超えた分の材積は「助成対象外の木材のうち助成対象外の林産物JAS」に記入する

例) 集成材(小断面)が30m<sup>3</sup>あり、上限材積が20m<sup>3</sup>の場合

- ① 上限材積を確認
- ② その他林産物JAS小計が上限を超えていないことを確認  
超えている場合小計は「×」になるため、ならないようにする
- ③ 超えた分の材積は助成対象外に入力

上限を超えた時場合

上記(半価区分)以外の木材小計		
/m <sup>3</sup>	直交集成材 (CLT)	0.0000
JAS構造材小計 (単価区分5万円の木材+CLT)		0.0000
その他林産物JASの上限材積(自動計算)		0.0000
	プルダウンで選択	0.0000
その他林産物JAS小計		0.0000
	助成対象外の林産物JAS	0.0000
	林産物JAS以外の木材	0.0000
助成対象外の木材小計		0.0000

上限材積(自動計算)	①	20.0000
		30.0000
		0.0000
	②	0.0000
		0.0000
その他林産物JAS小計		×
物JAS		0.0000
木材		0.0000
助成対象外の木材小計		0.0000

上限材積以内の場合

その他林産物JASの上限材積(自動計算)	①	20.0000
プルダウンで選択		20.0000
プルダウンで選択		0.0000
プルダウンで選択		0.0000
プルダウンで選択	②	0.0000
その他林産物JAS小計		20.0000
助成対象外の林産物JAS	③	10.0000
林産物JAS以外の木材		0.0000
助成対象外の木材小計		10.0000

# 手順3 表1に材料費を記入

- 見積書の明細を合計した材積を記入する
- 助成対象の「その他林産物JAS」と、助成対象外の木材の「助成対象外の林産物JAS」は、材積按分して材料費を計算する

例) 合板 3 m<sup>3</sup> (材料費200,000円) のうち、助成対象が1m<sup>3</sup>の場合

計算式

(助成対象の「その他林産物JAS」の材料費)

1m<sup>3</sup> (うち、助成対象の「その他林産物JAS」の材積)

=200,000円 ×  $\frac{\quad}{\quad}$

3m<sup>3</sup> (その材料費の全体の材積)

(「助成対象外の林産物JAS」の材料費)

2 m<sup>3</sup> (うち、「助成対象外の林産物JAS」の材積)

=200,000円 ×  $\frac{\quad}{\quad}$

3m<sup>3</sup> (その材料費の全体の材積)

①材積 (小数点第5位 切り捨て)	②見積もり額	③材積按分額	
	材料費	加工費	運搬費
0.0000			

# 手順4 加工費を計算する-1

アの「加工費」の表を埋める

- 該当の加工費がない、または見積もりに書かれているが加工費は申請しない場合、「加工費は申請しない」に☑を入れる
- 加工項目は「構造材プレカット」「合板プレカット」などの見積もり明細に書かれている項目を記入
- 加工項目の対象となる木材の番号には、表1で記入した番号を記入する。その番号の一部でも対象になる場合に記入
- 加工項目の対象となる木材の材積合計には、その加工費がかかる材料すべての材積を記入する
- 助成対象外の木材についても、加工費を記入して木材の番号を助成対象外の木材の番号で記入する
- 見積額は「見積もり明細」に書かれている金額で確認できる金額記入

ア. 加工費	<input type="checkbox"/> 加工費は申請しない			
※加工費は木材の部材を直接加工する費用とし、プレカット加工図作成等の諸費用は含まないものとする				
※2×4のパネル組立費は除く				
加工費項目	加工項目の対象となる木材の番号	加工項目の対象となる木材の材積合計	調達先	見積額
		0.0000		
小計				0

# 手順4 加工費を計算する-2

- アの「加工費」の表で記入した「加工項目の対象となる木材の材積合計」について、表1に材積で按分して加工費を記入する。
- 計算式は下記のとおりだが、表1にかかれた行の材積の全てが対象ではないときには、その加工項目の対象となる木材の材積で計算する。

計算式

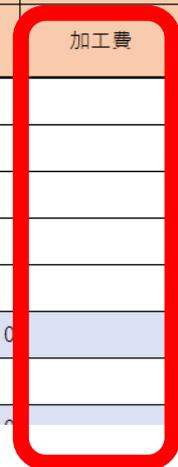
表1に記入された行ごとの材積

③加工費×

その加工項目の対象となる木材の合計材積

※小数点第1位切り捨て

番号	助成の区分 ※1	単価区分 ※1	JAS品目区分	①材積 (小数点第5位 切り捨て)	③材積按分額		
					②見積もり額 材料費	加工費	運搬費
1	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	機械等級区分構造用製材	0.0000			
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	目視等級区分構造用製材(乾燥処理材)	0.0000			
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	枠組壁工法構造用製材(たて継ぎ材を含む)	0.0000			
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	構造用集成材(中断面以上)	0.0000			
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	構造用単板積層材(LVL)	0.0000			
上記(単価区分5万円の木材)計				0.0000	0		0
	JAS構造材	140,000円/m <sup>3</sup>	直交集成板(CLT)	0.0000			
JAS構造材計(単価区分5万円の木材)計				0.0000	0		0



# 手順5 運搬費を計算する-1

イの「運搬費」の表を埋める

- 該当の運搬費がない、または見積もりに書かれているが運搬費は申請しない場合、「運搬費は申請しない」に☑を入れる
- 運搬費項目は「構造材運搬費」「運搬費」などの明細に書かれている項目を記入
- 運搬費項目の対象となる木材の番号には、表1で記入した番号を記入する。その番号の一部でも対象になる場合に記入
- 運搬費項目の対象となる木材の材積合計には、その運搬費がかかる材料すべての材積を記入する
- 助成対象外の木材についても、運搬費を記入して木材の番号を助成対象外の木材の番号で記入する
- 見積額は「見積もり明細」に書かれている金額で確認できる金額記入

イ. 運搬費	<input type="checkbox"/> 運搬費は申請しない				
※材料を現場まで運ぶ費用を運搬費とし、2×4やCLT等を設置、施工する費用は工事費となるため含まない					
※玉掛け費等も除く					
運搬費項目	運搬費項目の対象となる木材の番号	運搬費項目の対象となる木材の材積合計	調達先	見積額	
		0.0000			
小計				0	

# 手順5 運搬費を計算する-2

- イの「運搬費」の表で記入した「運搬費項目の対象となる木材の材積合計」について、表1に材積で按分して運搬費を記入する。
- 計算式は下記のとおりだが、表1にかかれた行の材積の全てが対象ではないときには、その運搬費項目の対象となる木材の材積で計算する。

計算式

表1に記入された行ごとの材積

③運搬費 ×

— 運搬ごとまたは調達先ごとの運搬費の対象となる木材の合計材積

※小数点第1位切り捨て

番号	助成の区分 ※1	単価区分 ※1	JAS品目区分	①材積 (小数点第5位 切り捨て)	③材積按分額		
					②見積もり額 材料費	加工費	運搬費
1	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	機械等級区分構造用製材	0.0000			
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	目視等級区分構造用製材 (乾燥処理材)	0.0000			
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	枠組壁工法構造用製材(たて継ぎ材を含む)	0.0000			
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	構造用集成材 (中断面以上)	0.0000			
	JAS構造材	50,000円/m <sup>3</sup>	構造用単板積層材 (LVL)	0.0000			
上記 (単価区分5万円の木材) 計				0.0000	0	0	
	JAS構造材	140,000円/m <sup>3</sup>	直交集成板 (CLT)	0.0000			
JAS構造材計 (単価区分5万円の木材) (CLT)				0.0000	0	0	

# 手順6

## 表1の④調達費値引き前の金額を確認

- 自動入力された④調達費 値引き前 の金額が正しいかを確認する

③材積按分額		④調達費 値引き前 (②+③)	⑤ 1 - 値引率	⑥調達費 値引き後 (④×⑤)
加工費	運搬費			
		0	0.0000	0
		0		0
		0		0
		0		0
		0		0

# 手順7

## ウ その他費用の記入

- ウに記入する項目は、助成対象外の金額となる  
金物費、  
加工費（ア以外のパネル加工費等）、  
運搬費（イ以外の玉掛け費等）、  
繊維板、パーティクルボード、などがこの項目に入る
- 見積書に記入されているもので、木材に関するもの以外の項目は  
すべてここに記入し、同じ調達先のを合計すると工見積書の金額  
と同じ金額になるようにする

ウ. その他木材以外の費用（表1・ア・イ以外）			
他（木材以外）項目	調達先		見積額
小計			0

# 手順8 見積書ごとの総額を記入

- 見積書ごとに見積もり総額、値引き総額を記入する
- (一つの調達先に対して、見積書が2枚ある場合は、分けて記入する)
- 表1からウまでの金額の合計とおなじ金額になっているか確認する  
(ア、イ、ウで申請しないのを入れた場合、金額が揃わないことがある。)
- 値引き金額は「-」を入力し、「▲」が見積額にでるか確認する
- ⑤1-値引率の自動計算が正しい数値になっているか確認する

エ. 見積書ごとの総額					
項目	調達先			見積額	⑤1-値引率
見積総額 (値引き前)					#DIV/0!
値引き金額 (マイナス入力)					#DIV/0!
見積総額 (値引き前)					#DIV/0!
値引き金額 (マイナス入力)					#DIV/0!
見積総額 (値引き前)					#DIV/0!
値引き金額 (マイナス入力)					#DIV/0!
見積総額 (値引き前)					#DIV/0!
値引き金額 (マイナス入力)					#DIV/0!
合計 (値引き後)				0	

# 手順9

1. 表1の⑤1一値引率を記入
2. ⑥調達費 値引き後を確認

- ウの自動計算された「⑤1一値引率」を、表1の「⑤1一値引率」に記入
- 調達先ごとに行が作られているため、同じ調達先の行に記入されているのは、同じ数値になる(見積書が別の場合を除く)

④調達費 値引き前 (②+③)	⑤ 1 - 値引率	⑥調達費 値引き後 (④×⑤)
0	0.0000	0
0		0
0		0
0		0
0		0
0		0

# 手順10

## 助成予定金額の算出を記入-1

1 予定調達費用の

- (1)に表1の⑥の金額を千円未満切り捨てて記入する
- (2)に表1の⑥の金額を転記する

助成の区分 ※1	単価区分 ※1	JAS品目区分	①材積 (小数点第5位 切り捨て)	②見積もり等の額		③材積按分類		④調達費 値引き前 (②+③)	⑤ 1-値引率	⑥調達費 値引き後 (④×⑤)
				材料費	加工費	運搬費				
JAS構造材	50,000円/㎡	機械等級区分構造用製材	0.0000					0	0.0000	0
JAS構造材	50,000円/㎡	目視等級区分構造用製材(乾燥処理材)	0.0000					0		0
JAS構造材	50,000円/㎡	枠組壁工法構造用製材(たて継ぎ材を含む)	0.0000					0		0
JAS構造材	50,000円/㎡	構造用集成材(中断面以上)	0.0000					0		0
JAS構造材	50,000円/㎡	構造用半板積層材(LVL)	0.0000					0		0
上記(単価区分5万円の木材)計			0.0000	0	0	0	0	0		0
JAS構造材	140,000円/㎡	直交集成板(CLT)	0.0000					0		0
JAS構造材小計(単価区分5万円の木材+CLT)			0.0000	0	0	0	0	0		0
その他林産物JASの上限材積(自動計算)			0.0000							
その他林産物JAS		ブルダウンで選択	0.0000					0		0
その他林産物JAS		ブルダウンで選択	0.0000					0		0
その他林産物JAS		ブルダウンで選択	0.0000					0		0
その他林産物JAS		ブルダウンで選択	0.0000					0		0
その他林産物JAS小計			0.0000	0	0	0	0	0		0

1. 予定調達費用(上記表より転記)

番号	内容	⑤調達費
(1)	JAS構造材小計(表1の⑥より 千円未満切り捨て)	0
(2)	その他林産物JAS小計(表1の⑥より)	0
(3)	(2)×1/2(千円未満切り捨て)	0
(1)+(3)		0

# 手順10

## 助成予定金額の算出を記入-2

### 2使用予定量

- (1)(2)に表1の①の材積を転記する

助成の区分 ※1	単価区分 ※1	JAS品目区分	①材積 (小数点第5位 切り捨て)	②見積り等の額		③材積按分類			④調達費 値引き前 (②+③)	⑤ 1-値引率	⑥調達費 値引き後 (④×⑤)
				材料費	加工費	運搬費					
JAS構造材	50,000円/㎡	機械等級区分構造用製材	0.0000					0	0.0000	0	
JAS構造材	50,000円/㎡	目視等級区分構造用製材(乾燥処理材)	0.0000					0		0	
JAS構造材	50,000円/㎡	枠組壁工法構造用製材(たて継ぎ材を含む)	0.0000					0		0	
JAS構造材	50,000円/㎡	構造用集成材(中断面以上)	0.0000					0		0	
JAS構造材	50,000円/㎡	構造用半板積層材(LVL)	0.0000					0		0	
上記(単価区分5万円の木材)			0.0000	0	0	0	0	0		0	
JAS構造材	140,000円/㎡	直交集成板(CLT)	0.0000					0		0	
JAS構造材小計(単価区分5万円の木材)			0.0000	0	0	0	0	0		0	
その他林産物JASの上限材積(目視等級)			0.0000								
その他林産物JAS		ブルダウンで選択	0.0000					0		0	
その他林産物JAS		ブルダウンで選択	0.0000					0		0	
その他林産物JAS		ブルダウンで選択	0.0000					0		0	
その他林産物JAS		ブルダウンで選択	0.0000					0		0	
その他林産物JAS小計			0.0000	0		0	0	0		0	

2. 使用予定量(その他JASは1.と同じ)					
		内容	単価区分	材積	(1)(2)立米単価を 乗じた金額 (3)予定調達費
(1)	JAS構造材	JAS構造材	50,000円/㎡	0.0000	0
(2)	JAS構造材	JAS構造材	140,000円/㎡	0.0000	0
(3)		JAS構造材小計(千円未満切り捨て)			0
(4)		その他林産物JAS 予定調達費小計			0
(5)		(4)×1/2 (千円未満切り捨て)			0
(3)+(5)					0

# 手順10

## 助成予定金額の算出を記入-3

事業申請時の助成予定額

- 金額が正しく計算されているか確認する
- 金額が千円未満切り捨てになっていることを確認する

事業申請時の助成予定額（1， 2 を比較して低い方の金額）

			0 円
--	--	--	-----

**A3縦**で印刷をして、提出をする